

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会  
平成 24 年度第 8 回理事会議事録

[開催日時] 平成 25 年 1 月 18 日 (金) 14 時～16 時

[開催場所] ホテル日航東京 シリウス

[出席した理事] 持田譲治、中村博亮、川上守、徳橋泰明、小森博達、紺野慎一、井口哲弘、加藤真介、  
加藤義治、川上紀明、高橋和久、橋本友幸、長谷川徹、平林茂、松山幸弘、米和徳

[出席した監事] 小西宏昭、佐藤哲朗

[議事の経過の要領及びその結果]

持田譲治理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

#### 決議事項

1. 第 1 号議案 第 44 回学術集会 担当業者の選定について

川上守理事は資料 1 に基づき第 44 回学術集会の担当業者の選定について説明した。各理事は慎重に審議し、株式会社コングレを担当業者として決定することが承認可決された。

2. 平成 25 年度第 8 回アジアトラベリングフェロー、スカラーの選定について

松山幸弘理事は第 8 回アジアトラベリングフェローの選考結果を報告し議場に計った。各理事は慎重に審議し、フェロー 12 名、スカラー 1 名が承認可決された。

#### 審議・報告事項

1. 日本専門医制評価・認定機構入社報告

中村博亮副理事長は資料 2 に基づき、11 月 26 日に日本脊椎脊髄病学会と日本脊髄外科学会の日本専門医制評価・認定機構への入社が正式に認可されたことを報告した。

2. JSR 編集委員会報告

平林茂理事は JSR 編集委員会報告を行った。広告料が昨年より約 350 万円少ないこと、新規入会希望者は現時点で 37 名であったこと、二重投稿に関する件を含めた日本医学会医学雑誌編集のガイドラインが今年の 8 月 3 日に正式に決定されるのでこの内容をもとに検討していくことが報告された。

3. 第 45 回学術集会会長選挙

小森博達理事は資料 11 の学術集会規定第 10 条に基づき、第 45 回学術集会会長選挙を行なうこと、選挙方法については検討中であることを報告した。

4. 日本医学会分科会利益相反会議の報告

小森博達理事は資料 3 に基づき日本医学会分科会利益相反会議の報告を行なった。本年 4 月以降 COI に関して何か問題が生じた場合、小森理事へ報告することが確認された。

#### 事前決議事項

1. 2012 年 10 月～12 月入退会者承認について

加藤義治理事は資料 4 に基づき入退会者承認について報告し承認された。

2. 平成 24 年度指導医審査結果報告および平成 25 年度会告について

橋本友幸理事は資料5に基づき平成24年度指導医審査結果と平成25年度会告を報告し承認された。

### 3.次年度以降の事務局運営について

小森博達理事は本年4月から事務を毎日学術フォーラムに外部委託することを報告した。これに伴い定款で事務局の住所変更が必要になることなどが報告され承認された。

### 事前審議事項

#### 1. PVP 適正使用指針について

加藤真介理事は資料6に基づき日本IVR学会、日本脊椎脊髄病学会、日本脊髄外科学会が共同で作成したPVPを安全に行なうための指針(案)を報告した。

#### 2. 第87回JOA総会におけるシンポジウム、パネルディスカッションについて

持田讓治理事長は資料7に基づいて第87回JOA総会におけるシンポジウム、パネルディスカッションについて報告した。川上守理事と平林茂理事の提案から専門医制度、OPLL、LSSガイドラインの3つを採用することが承認された。

#### 2. 評議員選出規程について

徳橋泰明理事は資料8に基づき評議員選出規定第5条の⑤の変更について報告した。審議した結果、「最近10年間」という文言を省くことと「ただし、脊椎脊髄病の診療に高度な臨床経験を有する者である場合には、和文10編以上をもって変えることができる」を省くこととなった。

#### 3. 手術合併症アンケート調査経過報告

井口哲弘理事は資料9に基づき手術合併症アンケート調査経過に関して、学会期間中に米委員長が報告し、論文化してJSRに投稿する予定であることを報告した。

#### 4. 骨粗鬆症性椎体骨折アンケート費用の予算について

加藤義治理事長は骨粗鬆症性椎体骨折アンケート費用の予算について報告し承認された。

所要の議事を全て終了したため、議長は閉会を宣言した。

平成25年1月18日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田讓治

監事 小西宏昭

監事 佐藤哲朗